

講義名	基礎技能B（社会科学）			授業形態	
担当教員	中條 翔汰	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

【目的】
基礎技能Bは、公務員を目指す学生を対象とする「公務員試験対策プログラム」に位置づけられる公務員試験対策科目である。プログラム生は「基礎技能B（社会科学）」も必ず履修すること。

2年生対象の「基礎技能B（社会科学）」は、公務員採用試験における教養科目の一般知識分野である社会科学を基礎から無駄なく実践レベルまでレベルアップすることを目的とする。授業内では初回と比較して最終回での理解度ならびに平均点を20%アップすることを目標とする。
なお、公務員採用試験合格には、当該授業を履修するだけでなく、自学自習が前提であることは言うまでもない。

【内容】
社会科学における法学分野・政治分野・経済分野・社会分野の4分野に関する頻出論点を確認し、近年の公務員試験の傾向を把握する。また、公務員試験受験に向けて、自習の方法や試験制度、職種なども学ぶ。
なお、小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。

【留意】
・講師との対話を通して定められる本授業の意義は、受講生が、本学がディプロマポリシーで掲げる「論理的思考力」「情報収集力」「情報分析力」を着実に身につけることができることにある。また、「公務員試験勉強には日々コツコツと宿題をこなしていくことによって、「ネアアのびのび」へこれたず」の精神を養うことも大きな意義がある。

到達目標

- ・公務員採用試験で出題される社会科学の基礎知識を「正確」に理解し、それらが現実の政治・経済の仕組みの土台になっていることを理解することができるようになる。
- ・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。

なお、以上の目標に到達するため、本授業は講師と受講生のコミュニケーションを重視する。

提出課題

- ・毎授業時に宿題（練習問題）を出す。
- ・公務員試験勉強には日々コツコツと宿題をこなす。宿題を通して、自分のペースに合わせた学習習慣を身につけてもらいたい。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業後に宿題を課し、登壇の授業時に必ず提出すること。
提出理由がない宿題は、提出期限を過ぎるまで提出は認めない。
また、欠席等で宿題の受け取りが出来なかった場合は、授業運営をサポートしてきている資格サポートコーナーに受け取りに行き、提出すること。
第3回、6回、9回、12回、15回に実施する小テストに関しては各個人の点数、クラスの平均点をお知らせする。

評価の基準

小テスト（5回×5問＝25問）[50%]と受講態度（宿題の提出[15回]を含む）[50%]の割合で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。
受講態度が悪い場合には、減点する。
また、宿題も必ず提出すること。特別な事情を除き提出がない場合には、減点する。
また、最初の授業時に学習する科目の小テストを行い、その時点でどれくらい問題が解けるかや苦手範囲を確認し、15回の授業を通して解けるようになる。さらに、志望する職種・自治体について事前に調べ、エントリーシートに必要な項目も早めの段階から書く準備をしておくこと

教科書

『地方公務員 寺本康之の超約ゼミ 大卒教養試験 過去問題集 2027年度版（公務 寺本康之・松尾敦基 員試験 教養試験対策）』	実務教育出版	1760	9784788978133
---	--------	------	---------------

参考図書

・なし。

その他

必要に応じて資料を適宜配布する。
なお、使用テキストは2年生前期の基礎技能B内で使用したテキストと同じになります。

授業計画

- 第1回 法学分野1：公務員ガイダンス・法の基礎理論、憲法
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第2回 法学分野2：基本的人権
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第3回 法学分野3：国会、内閣、裁判所
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第4回 法学分野4：各法律の基本問題
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第5回 政治分野1：政治制度
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第6回 政治分野2：選挙
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第7回 政治分野3：憲法
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第8回 経済分野1：政治・地方自治、国際政治
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第9回 経済分野2：ミクロ経済学
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第10回 経済分野3：マクロ経済学
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第11回 経済分野4：財政制度・租税制度
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第12回 経済分野5：世界経済事情
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第13回 社会分野1：社会の発展と現代社会
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第14回 社会分野2：現代社会
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）
- 第15回 社会分野3：現代社会
予習内容：シラパスを確認し、テキストで該当ページを見た上、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること、テキストの練習問題の解き直しを行うこと（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業の目標は、本学のディプロマポリシー（5項目）と以下の点で関連する。
・公務員試験で出題される社会科学の基礎知識を「正確」に理解し、それらが現実の政治・経済の仕組みの土台になっていることを理解することができるようになる。
・知識が確実に転換することができる。論理的思考力を持った人材の育成。
・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。
・自主・自立の精神を持った人材の育成

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

理解度確認表・キャンパスクロスを活用し、不明点や確認事項を学生と講師間で共有する。

実務経験の有無及び活用

備考